

●第 3 回理事会開かれる 5 月 15 日 午後 14 時から 16 時 30 分まで 10 人出席

年度総会では、理事の多くが勇退を表明されたので継続は無理ではないという雰囲気が一時期漂いました。その中でも 4 人の皆さんが継続するとされ勇退表明者に積極的に翻意を促す一方、新人発掘に働きかけて体制を構築されるなど、大変な努力を払っていただきました。これで 2021 年度及び 2022 年度の活動は維持できることになりました。できるだけ昨年度並みの事業を展開してはどうかとの意欲も示して、方針や予算案を出席者一同 全会一致で決定され、議案が出来上がりました。2020 年度理事会が役割を果たすことができました。めでたしめでたしです

●第 27 回通常総会について 昨年通り文書提案で

今、第 4 波の緊急宣言が拡大されて一日の感染者数が全国で最高記録を更新中となっています。又、変異ウイルスに置き変わってきて猛威を振るい、公共施設は軒並み閉鎖され、飲食関係業者は営業時短、酒類の提供はできないなど大変な事態となっています。又オリンピック開催に異議を述べる候補選手が数多く現れています。また我々の身の回りにも感染者や濃厚接触者が現れ、学級閉鎖が行われるなど非常事態になってきています。高齢者に対するワクチン接種も日程が遅れてきているのも気になります。里山の会も構成している皆さんは高齢者がほとんどですので、この状況で総会を開くことが可能かどうか？理事会出席者で喧々諤々、論議を行いましたところ、ワクチンも遅れている事だし、もし万が一クラスターが発生することになれば一大事で元も子もなくなるから自重すべきという事で一致しました。昨年通り文書提案で当面は乗りきるべきと一致しました。一年の総括をしっかりと行い、新役員の選出も投票で、みんなで選ぶのが当たり前ではありますが、こうしたパンデミックスでもあり、文書提案とさせていただきます。よろしくご理解をお願いいたします。頂きましたご意見も大切に生かしていきたいと思っております。

●病氣治療中の理事も積極的に出席森島深田山村

昨年予期もしていなかった深田さん山村さんの長期入院治療に加えて、今まで最も元気で力強く活動を展開してくださっていた森島さんが、入院手術となり、幸いにも軽く、手術も成功して退院、現在は療養治療を行っておられています。お互い明日はどうなっているかわからない年齢に差し掛かっております。今回の理事会の開催日には、加療中にもかかわらず皆さんが勇気を発揮して第 3 回の理事会にご出席いただきました、なかなかの熱意の表れだと思います。このまま里山の会を終わらせてはならないという熱意が表れたのだと思います。「自然を大切にする仲間の輪を大きくする」を今こそ、その役割を担う時です。全世界がコロナウイルスに恐怖を感じているとき、スローガンの実現に頑張りましょう。

●近畿建設協会への支援事業申請 2021 年度は落選となりました

建設協会には昨年度強力な助言をいただき、交付申請に一方ならぬご指導をいただきまして 50 万円の交付が実現いたしました。2021 年度も同様内容での申請をいたしましたが、大きく変化がなく改良や改善点もなく申請をしましたところ、見事に落選となってしまいました。何事も前年同様の改善改良がされていない内容では努力や前進が見られないと判断されているのだと思います。何事も実施すれば教訓や新しい課題や問題点が見つかるものです。それに対応が見つけられなくて進歩がみられないと判断されたのだと思います。いずれもいつでも改善点を忘れてはならないポイントであることを学ばされました。

●古川章さんから提供の草内倉庫の使用方法の変更の申し入れがありました

これまで長年ご理解をいただき無償で草内の倉庫を使用させていただいてきました古川章さんにお礼を申し上げます。発足して財政力もなく、物を置く場所もなく困難に直面しているとき、心よく、「空き地があるから自由に使っては」と提供をいただきました。これまでどれほどこの土地の提供で助けられたか、堆肥を高く積み上げ販売の用地にしたこと、里山の会が参加する木津川マラソンの用具や看板整備の広場に使用する事などで大変な貢献ができました。しかし、高齢のために地主として名義変更を行った場合にはこれまで私は理解するけれど息子の代になればそうもいなくなるとおっしゃっておられて、いよいよ 2021 年から移譲が行われ、これまでとは同様の使用はできなくなったと連絡がありました。

●木津出張所長との話し合い 2021 年度は 5 月 27 日 14 時から

毎年木津川出張所長さんとの話し合いをおこなってきました。昨年は①河川協力団体の活動紹介 河川協力団体の活動紹介 希少種植生調査管理業務 ②中聖牛設置への協力と共同 広場使用 設置作業 11 月末 ③玉水浜通路の確保 洪水被害時の復旧④木津川流域センターの充実(電話、印刷 事務所使用 屋外天井) ⑤展示できる場所が狭いので展示場使用可能な部屋の充実 改装含む(2 階倉庫の使用) ⑥防災倉庫に水没ドアの常時設置・木津川堤防工事状況パネル設置・と公開 ⑦右岸プロムナードの開設(開橋～玉水橋)。⑧魚とり会場への通路の草刈り ⑨魚とり会場の渇水時における水路の掘削確保 ⑩普賢寺川河口での広場確保 除草作業 ⑪木津川堤防の工事計画表の明示 ⑫イタセンパラの復活への取組み説明 ワンド周囲の整備 ⑬20.5K 付近木津川の山城町大川樋門下流の河川敷浸食場所対岸の砂州減少工事の明示を伝えました。ことしは新しく⑭真竹の提供場所を新たにお願いしたい。⑮中聖牛の製作及び竹蛇籠 製作場所として木津川流域センターおねがいしたい ⑯兩岸に休憩場所離合場所どの設置をお願いしたいことを付け加えたいと思っています。27 日まで日にちがありませんが要望があれば事務所まで届けてください。

●会誌 50 号の原稿お待ちしております 準備中の皆さん送付をお急ぎ下さい お待ちしています

●木津川希少種調査管理業務の草刈り作業 八幡市から開始

16 日日曜日、梅雨の晴れ間を見計らって、太田さん、有田さんで草刈り作業を行っていただきました。お疲れさまでした。
地域地元の皆さんから、飲み物の差し入れをいただきました。
有難うございました。

